

ろんぶ^んん

2019年3月7日放送：幽霊

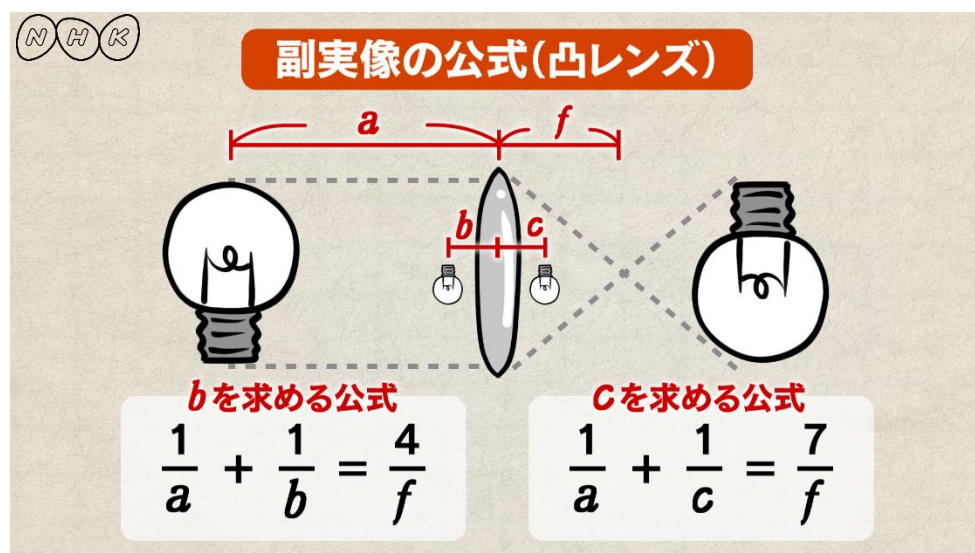
論文①「副実像」の写像公式化の研究 ～定式化のための行列の特定と可視化～

著者：成松紀佳、小佐井彩花、高田晶帆（熊本県立宇土高等学校3年生）

※番組に登場したのは成松さんと高田さんの2人。



左から：論文プレゼンターのアキラ100%さん、論文著者の成松紀佳さん、高田晶帆さん、論文の指導に当たった梶尾滝宏教諭、MCの田村淳さん、ゲストの小島瑠璃子さん



宇土高校科学部物理班はレンズ付近に出現する2つの小さな実像を発見、「副実像」と名付けました。その副実像を写し込むことで、いわゆる心靈写真のような写真を作り出すことができます。副実像の出現位置は決まっているため、レンズから副実像までの距離を求める公式を導き出しました。

著者：工藤優花（東北学院大学教養学部 4 年生（当時））



右が指導に当たった金菱清教授。

東日本大震災以降、被災の体験を聞きとる「震災の記録プロジェクト」の活動を行っています。

NHK

工藤さんの考察

- ①具体的なエピソード
- ②幽霊が若者や子ども
- ③無念の思い

NHK

恐怖

↓

「また乗せたい」

金菱ゼミに所属していた工藤さんが震災後に幽霊の目撃談が相次いだ石巻市で調査を行いました。幽霊と出会ったというタクシードライバー数名の話に共通していたのは「エピソードが具体的」であること。「幽霊が若者や子ども」で、大切な人に会いたいといった「無念の思い」を抱えていることでした。また、タクシードライバーも当初は恐怖心がありましたが、「また乗せたい」という気持ちに変化しているという共通点がありました。